

### 東照宮三百五十年祭を挙行

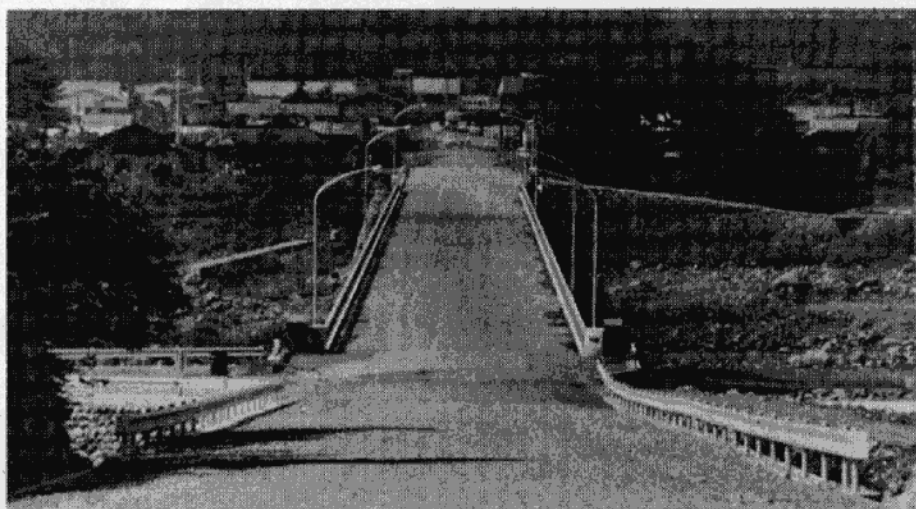


ことしは、徳川家康公が東照宮に奉られてから三百五十年にあたり、日光東照宮では五十年に一度の行事として、ご祭神家康公のご墓所である「奥宮」を開いて、一般の参拝を許したほか、千人武者行列をはじめ、花火大会や記念講演など、数々の記念行事が行なわれました。

春季大祭のひとつ

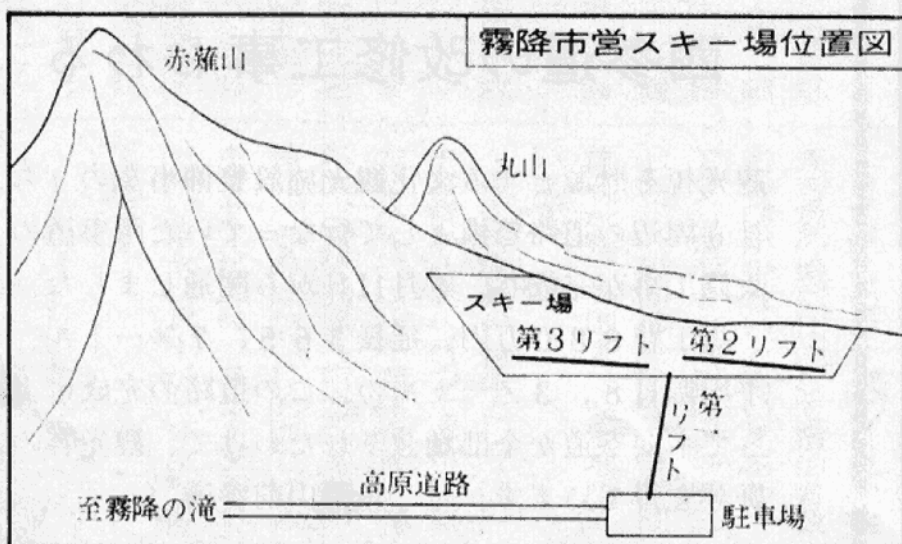
### 霧降大橋が完成

二年十か月の歳月と、九千五百万円の工費で建設された「霧降大橋」の開通祝賀式が八月九日に行なわれました。延長百七十メートル、幅九、五メートルの霧降大橋は、大谷川の出水のたびに、仮り橋が流出した不便を解消したほか観光未利用資源として注目されている霧降高原の開発に、重要な役割を果すことになりました。完成した霧降大橋



### 霧降高原に市営のスキー場を整備

観光客過密化の緩和と新しい観光地を開発し、観光客の誘致を図ろうということで、整備費約5,900万円を見込んで霧降高原のキスゲ平を中心に市営のスキー場整備に着手、ことしの冬開場めざして急ピッチで工事をすすめています。スキー場には三基のリフトを建設しますが、このリフトは四季を通じて利用できることから、将来は百万人、二百万人の観光客を見込むことができ、観光客の誘致に大きな成果をもたらしてくれるものとして、その完成が待たれています。



スキー場の位置図

### 名誉市民に金谷真一氏を推戴



金谷真一氏

2月の定例市議会で、社会文化の興隆につくされた功労をたたえ、金谷真一氏(85)を4人目の名誉市民に推挙、5月4日に名誉市民章を贈呈しました。贈呈式には市長はじめ市議会正副議長が出席し、金谷ホテルで名誉市民章と推戴状をお渡ししましたが、氏は85歳とは思えぬ健康さでした。今後も市発展のために、なにかとお力添えをお願いすることになりますが、市の名誉市民として誠にふさわしい方です。